

だんだん

新緑と残雪の中で

残雪の中で芽吹く美人林(下川手)のブナ。目に鮮やかなライムグリーンは春を待ちわびていた雪国のすべての生きものの喜びを表しているかのようです。里山写真教室(P.2・3参照)に集った人たちの表情も自然と和やかに…おかまちの春は今が盛りです。

主な内容

【特集】

● 越後妻有の里山写真教室

- おめでとーいびいいます 春の叙勲…………… 4-5
- 大地の芸術祭 深発見!!…………… 6-8
- ポジティブリスト制度が始まります…………… 9
- 市政事務嘱託員会議を開催しました…………… 10-11

特集 達人が教える里山の楽しみ おとなの課外授業 越後毒有の里山写真教室

暖かい日差しに誘われ、われ先にと咲き誇る野の花々。深い自然に包まれた私たちの郷土新潟県は、花のふるさとでもあります。そんな花々にスポットを当てた観光キャンペーン「にいがた花物語」が、3月1日(水)〜6月30日(金)までの4か月間に渡って開催されています。中でも、「詠む」「撮る」「歩く」「描く」をテーマにした「おとなの課外授業」は人気メニューの一つです。5月13日(土)には、松代、松之山地域で日本の原風景でもある棚田やブナ林を被写体にした「撮る」の授業が行われました。



おとなの課外授業

キャンペーンを主催している社団法人新潟県観光協会の藤田勝彦課長は「県内の、四季折々の花々の美しさに、ほかの楽しみ方を加えることで地域性をPRできた」と、企画への思い入れを話しました。「ほかの楽しみ方」として組まれているのが、「詠む・撮る・歩く・描く」のイベント。その道の達人をゲストに迎え、各地域の花を紹介する「花人」とともに、花と趣味をおして地域の魅力を増幅させながら楽しもうというものです。

期間中、5回のイベントが組まれていて、3月には長岡市で「描く」授業として「越後雪割草・絵手紙教



参加者のファインダーをのぞく青柳さん

室」が、4月には上越市で「詠む」授業の「高田城百万人観桜会・夜桜句会」が行われました。今後は、6月4日(土)に佐渡市で「歩く」授業の「花の島・佐渡 秘境外海府海岸散策」、6月24日(土)に新発田市で「描く」授業の「あやめの城下町をスケッチ」が行われます。

越後妻有で「撮る」

今回の課外授業は、「越後妻有の里山写真教室」として、新緑が映える松代の棚田と松之山のブナの原生林「美人林」、そして大地の芸術祭を合わせて、美しい里山に触れようと企画されました。達人として招かれた写真家の青柳健二さんから、直接撮影指南を受けられるとあって、県内外からアマチュアカメラマンなど51人が集まりました。

青柳さんは、自ら「棚田病」と称するほど、その魅力に引かれ、国内はもとより世界各国に向いて写真に収めています。「日本の棚田百選」「アジアの棚田・日本の棚田」など数多くの著書も発行しています。

参加者は、時折小雨が降る中、行く所々でカメラを構え、構図を決めては青柳さんにファインダーをのぞいてもらって、アドバイスを受けていました。



山野草を説明する高橋八十八さん(中央)

また、花人として地元から高橋八十八さん(福島)がツアーに同行して、山野草の説明をしました。雪解けのこの季節にしか見られない植物も多く、参加者は写真に撮ったりメモを取ったりして、春の里山を満喫していました。

棚田に惹かれる

「棚田を造った農家は、美を求めたわけではありません。自然との折り合い、せめぎ合いがあったはずなんです。そこに人と自然との調和があると思うんです」と、棚田は人が作ってきた文化的景観であるという青柳さん。その背景には、時の流れと人の汗が重なると言います。青柳さんの棚田の写真に、人の表情が多く写っているのも、その温もりの表れのようなのです。

「撮影では、ごみの持ち帰りはもちろん、あぜを壊したり農道に車を置きっぱなしにしたりしないように気をつけています。棚田を守る農家への礼儀ですから」。景観保全に向けて、自分たちができることを併せて考えていかなければならないと青柳さんは訴えています。

里山の味わい

「残雪や木々の芽吹き的美しさ。

本当の自然を味わえたようで感動しました。写真を始めたばかりという橋高修さん(新潟市)は前回の大地の芸術祭で妻有地域を訪れ、その思い出から今回も参加したそうです。「今回のイベントに参加して、今年の芸術祭は、また違った楽しみを味わえそうです」と、期待を膨らませています。

魚沼市から参加した高橋香苗さんと南魚沼市の阿部勇さんは「クラブの仲間に参加しました。この落ち着ける気持ちをうまく写真にできたいと思います。さっそく東京の友だちに送って紹介します」と、撮った写真の画像を見せ合いながら満足そうに話していました。

ツアーの案内役を務めた市観光交流課の竹内茂俊課長は「現在、松代・松之山の自然美あふれるこれらの地域資源を目的に、年間約10万人が訪れています。観るだけの観光でなく、趣味を楽しむことで一層魅力を感じてもらえるんだと思います」と、その奥深さを話します。

多くの人を魅了してやまない里山の景観。各種の雑誌やメディアのシーンでも目にするようになりました。その里山を美術館に見立てた大地の芸術祭もその魅力を引き出す

一つの手法です。一方で、生命の源、食を育む農業の基盤でもあります。近年、中山間地域での農家人口の減少により、これら里山の保全も減衰傾向にあるといわれています。水源のかん養、土砂崩れ・水害の防止など多面的機能を維持する観点で、棚田などに目が向けられ多くの保全事業も導入されています。地域の資源の一つとして生かしながら、悠久の美観を守るのも、私たち一人ひとりの心がけかもしれません。



棚田スポット付近の道ぶしんをする蒲生集落の皆さん

写真説明をする青柳健二さん(左)



春の叙勲

おめでとうございます
ございます

春の叙勲が4月29日(みどりの日)に発表されました。さまざまな分野で永年にわたり活躍・貢献し、晴れの栄誉に輝いた皆さん、おめでとうございます。

旭日小綬章

(地方自治功勞)



関谷達治さん
(室野・70歳)

永年にわたる地方自治の振興に貢献した功績が認められ、関谷達治さんが春の叙勲に輝きました。

関谷さんは、昭和48年に旧松代町議会議員に初当選し、以降5期16年に渡り議会活動を続け、その間昭和62年から2年間、議長として町議会発展に寄与しました。平成元年に同町長に就任してから、平成17年の合併により失職するまでの4期16年間、町民本位を最大理念に据え、町政発展に多大な貢献をすることともに、新潟県や全国組織の会長などを歴任しました。

受章にあたり関谷さんは、「地域活性化による自治体間競争が増す中、常に住民福祉の向上を追求してきました。ほくほく線開通を契機に町の姿を変えていくことも急務でした。にぎわいのある町に育ったのも町民の皆さんの活力のおかげです」と旧松代町を振り返りました。

旭日双光章

(地方自治功勞)



山本茂穂さん
(桂・74歳)

永年にわたる地方自治の振興に貢献した功績が認められ、山本茂穂さんが春の叙勲に輝きました。

山本さんは、昭和50年に旧中里村議会議員に初当選し、4年間農業の振興に尽力したほか、昭和59年には、中里村農業協同組合長に就任し、5年3か月の間農業の伸展に寄与しました。また、平成元年には中里村長に当選し、平成17年に失職するまでの4期15年3か月の間、村政発展に寄与し地方自治の発展に多大な貢献をしました。

受章にあたり山本さんは、「村長就任中で一番うれしかったのは、長年の懸案であった平成8年の清津橋のしゅん工です。平成14年の7月に、清津川ダム建設が中止になったことも印象に残っています。これまでに続けてこられたのは、住民の皆さんのご協力と、家族の支えがあったからこそです」と話していました。

旭日双光章

(地方教育行政功勞)



金子幸作さん
(岩瀬・81歳)

永年にわたる地方教育行政の振興に貢献した功績が認められ、金子幸作さんが春の叙勲に輝きました。

金子さんは、昭和23年に旧仙田村書記として行政職に携わって以来、旧川西町の教育委員会に籍を置き、公民館活動や町史編さん事業の中心的役割を果たすなど地域の教育振興に尽力しました。退職後の昭和60年から約20年間、旧川西町の教育委員長として学校教育・社会教育全般に渡り教育環境の充実・教育機会の拡充などに多大な貢献をしました。

受章にあたり金子さんは、「長くこの職を務められたのも町の人たちが協力的だったからです。それが教育全般に発揮され評価されたのだと思います。立场上、酒・たばこを断っていたことで「堅物」と見られましたが(笑)。学校や地域で子どもたちの希望に輝く目を見ることができて幸せです」と喜びを語りました。

瑞宝双光章

(消防功勞)



上原正行さん
(上山・66歳)

永年にわたり、消防団業務に従事した功勞で、上原正行さんが春の叙勲に輝きました。

上原さんは昭和38年に旧中里村消防団員に任命されて以来、42年間消防の第一線で活躍しました。また、平成15年から平成17年にかけて中里村の消防団団長として数々の災害の現場で活躍しました。

上原さんは、「今回の叙勲はみんなの代表でいただいたと思っています。消防団40年の活動で一番の思い出は、やはりおとしの中越大震災です。役場が壊れた上に電話が不通になり、地域の安否を車で確認してまわったことは忘れられません。ほかにも20年ほど前の新潟県の消防団大会で中里チームが自動車ポンプの部で優勝し、全国大会に出場したこともいい思い出です。大会で培った技術は今も現場で生かされています」と話していました。

瑞宝単光章

(消防功勞)



室岡徳松さん
(池尻・70歳)

永年にわたり、消防団業務に従事した功勞で、室岡徳松さんが春の叙勲に輝きました。

室岡さんは昭和29年に旧松代村消防団員に任命されて以来、51年間にわたり地域の防災活動に貢献しました。また、平成15年から17年まで松代町消防団副団長として、団員の指導にあたりました。

受章にあたり室岡さんは、「約半世紀にわたる任務は本当にあつという間でした。昔は学校を卒業すると即消防団入団で、入団したところは手こぎ式のポンプ車で消火作業をしていました。長く勤めたラッパ手もいい思い出です。きちんとした音階になるまで苦労しましたが、消防団の県大会で演奏したことや、町の連合演習のときに、演奏に合わせて隊員が敬礼や入場行進をしてくれたこともうれしかったです」と話しました。

漏水に注意を！

水道は、健康で文化的な生活やさまざまな社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤施設として、重要な役割を果たしています。

第48回水道週間

6月1日(木)～7日(水)

安全とおいしさづくり水道水

水道ひとくちメモ

●赤い水
水道管についた「鉄さび」がおもな原因です。しばらく水を出しているときれいな水になります。

●白い水
水の中に空気が混じり、小さな泡ができたために白く見えます。そのままにしておくとも透明になります。

●青い水
給水管などの銅管が新しいときに微量の銅イオンが管から溶け出すことがあります。この銅イオンが石けんと反応して「銅石けん」となり、浴槽やタオルなどに付いて青く染まります。

浴槽などに石けんや湯あかが残らないようにこまめに手入れをするよう心がけましょう。

■問合せ 水道局庶務係
☎757-3115 (内線93)

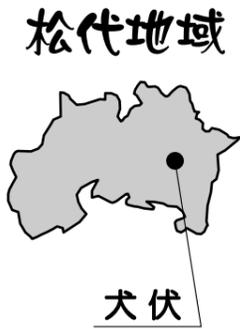
十日町市の水道利用状況
(H18年4月1日現在)

区分	給水人口(人)	割合(%)
上水道	34,378	54.1
簡易水道	27,088	42.6
小規模水道	290	0.5
組合営水道	403	0.6
自家用水のみ	1,427	2.2
人口	63,586	100.0

塩澤さんは、その実直でおおらかな性格から、2003年に作品を設置した犬伏集落の人たちから共感を覚えてきました。2006年のプランは、休耕田を自ら中心となって復

「イナゴハビタンポ」

〈塩澤宏信・日本〉



活させ、その真中に巨大なイナゴ型滑り台を設置するというものです。なぜイナゴなのか？かつて害虫として農家から嫌われたイナゴですが、現在は農業の普及とともにその姿も少なくなりました。塩澤さんは、減ったイナゴと生活環境の関係について短期的な利益ではなく、かけがえない地球環境・持続可能な農業や食の安全を長期的な視点で考えています。それを象徴するモニュメントとして、イナゴの作品の制作に着手しました。

イナゴの背面を使った「滑り台」は、さまざまの角度から「田んぼ」を感

じるための装置であるのと同時に、遊ぶことができる作品になります。また、塩澤さんはおとしから松代地区の稲作にも携わっています。長期的にこの地域との関係を築いていくうえで、農業に関わることが欠かせないと考え、イナゴ型滑り台の周囲の「田んぼ」づくりについて地元農家の人たちと相談しながら計画しているところです。

現在、塩澤さんのアトリエでは巨大なイナゴのパーツ（陶）が制作されています。芸術祭ではこれらのパーツが組み立てて巨大なイナゴが出現



作品イメージ

※「ハビタンポ」とは「ハビタッド」生物の棲む環境」と「タンポ」田んぼ」を合わせた造語

「重地の皆さんともっと交流をしたい、また作品を身近に感じていただきたい」と話すのは山田良さんと山田綾子さんのご夫妻。山田さん夫

「重地プロジェクト2006」みんなのベンチ

〈山田良+山田綾子：日本〉



妻は、前回の芸術祭で重地に作品（ポケットパークNature, Nature）を制作しました。その後、何度も重地を訪れ、重地の人と電話や手紙のやりとりをするなど、深い交流を続けてきました。作品は現在、重地の皆さんが維持管理を行っています。前回の作品は集落の外れに設置しましたが、今回は集落の中で希望者を募り、家庭の庭や池の周りなどに数十個のベンチを設置します。「休憩やおしゃべり場、野菜の洗い場として集落の人に利用してほしい」。また、芸術祭期間後は「そのまま使ってくださいでもいいし、再利用してもか

まわらない。皆さんのものにしてほしい」と、作品オーナー制度をとり入れました。作品の恒久設置や維持管理はオーナーの判断に任せることで、管理負担をなくし、より自主性を尊重する、集落の人たちの気持ちを大切に作る作品となります。



重地集落の皆さんとの作品制作の様子

〈山田さん今後の作品制作予定〉

6月前半・7月前半に1週間程度、作品制作の進行状況を見ながら来訪予定。
制作場所：重地集落内
制作者：山田良+山田綾子
(ボランティア大歓迎！)

「surround」(元町)
〈宿南 泉：日本〉



昨年、「越後妻有2005夏10 days」で、工作教室を開催した宿南さんが、中子芝生広場に古紙や古材を再利用した作品を設置します。昨年10月から今年の4月まで、

作品の材料の一部となる牛乳パックの提供を上野地区の皆さんにお願いしたところ、約3千枚が集まりました。現在宿南さんは、なごみの家の作業所の一角をお借りして、集められた牛乳パックで紙すき作業を進めています。



宿南さんの絵画教室の様子

5月3日(憲法記念日)、4日(国民の休日)とエンゼル妻有の皆さんを対象にした絵画教室を開きました。参加者は採れたての山菜やパンなどをモチーフに、なごみの家で作られた再生紙と木炭で、思い思いの絵を描いていました。

「House of Water Tales」(大白倉)
〈ハベル・ムルクス：チェコスロベキヤ〉
大白倉集落の皆さんと自然を被写体にした映像作品を展覧します。作家ハベル・ムルクスさんは昨年の夏に来日し、大白倉の地元の人たちの案内で題材となる映像の撮影を行いました。

現在、その映像の編集作業を行っており、今回の芸術祭では、豊かな水とともに築き上げられたこの地区の文化がアート作品として紹介され、人と自然の共生を語りかけます。

会期
2006.7.23sun-9.10sun
アートトリエンナーレ2006
越後妻有
大地の芸術祭
ECHIGO-TSUMARI ART TRIENNIAL
深発見!!
その2

きものまつりで「大地の芸術祭」をPR
ボランティアとサポーターが大活躍!

快晴に恵まれた5月3日(憲法記念日)のきものまつり。芸術祭のPRを行うために、まつり会場の中央にブースを設け、通り行く人たちにチラシの配布や今夏の見どころを説明しました。市外から訪れた人の中には、足を止めてパスポートを購入する人もいて、人気の高さがうかがえました。

この日は、職員のほかに地元ボランティアの高橋信生さん(新座第4)とサポーターの桑原さやかさん(市内出身、東京都在住)が応援に駆けつけ、熱のこもったPRをしていました。

地元ボランティア組織には、現在20人を超える人たちが登録しています。

大型連休のこの日、ボランティアで協力した高橋さんは「世界に誇れる芸術祭が自分のまちで開かれるなんて光栄です。この感動をみんなに伝えたいです」と道行く人に笑顔で応えていました。今夏に向け、ツアーガイドの準備や作品制作サポートなどで、すでに多くのボランティアの皆さんが活躍しています。

3年に一度の「大祭」を盛り上げ、また自分自身も楽しむためにも、市民の皆さんの地元ボランティアへの登録をお願いします。(連絡先：広域事務組合企画振興 ☎025-757-2637)



きものまつり会場で芸術祭のPR

松之山地域



松之山

「Remains松之山分校」

〈阪田清子・日本〉

十日町のみなさん、こんにちは。私は上越市出身で沖縄県在住の阪田清子です。昨年8月1日、越後妻有2005夏10daysの期間中に安塚高校松之山分校でワークショップ

プ「タイムカプセルin松之山分校」を行いました。そして1年後の今年8月1日(火)午後1時に、再び松之山分校に集い、みんなでタイムカプセルを開封する予定です。また、今年の芸術祭では、松之山分校の旧校舎を会場として作品の設置も行う予定です。私は、「人にとって記憶とはどんな存在なのだろう」と、いつも作品を作るとき考えています。今回の作品では、松之山の物置で見つけた昔の古い道具類を



タイムカプセル

使って、忘れ去られた「物の記憶・人の記憶」を再生させたいと考えています。観る人にとつて、ほんの少し足を止めてモノの持つ力・ささやきに耳を傾ける時間と空間になれたらと思います。



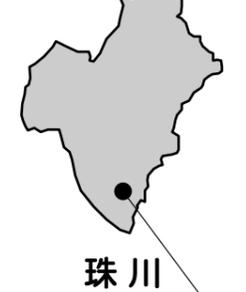
作品イメージ



作品が設置される旧校舎

現在、作品に使用する「昔の農作業風景の写真」を募集しています。このような写真をお持ちの方は、ぜひお貸しください。写真はこちらでパソコンに取り込んだ後、すぐにお返しします。
◆連絡先：松之山支所地域振興課自治振興係
☎025-596-3131

十日町地域



珠川

珠川の当間高原リゾート地内には、2つの作品が設置されます。いずれも、当間の豊かな自然がより深く感じられる作品となります。

「虫のコンサート」

〈ヘンリック・ハカンソン・スウェーデン〉

ハカンソンさんは、自然愛好家としても世界的に有名な作家です。作品は当間の木々に囲まれた場所を選び、目の前に広がる自然に向き合うようにして観客席が置かれます。訪れた人はこの観客席で作家が用意したヘッドホンを付けて、集音マイクを通して流れてくる鳥のさえずりや虫の声などの自然の音を聴きます。当間の豊かな自然に浸りながら、日常のけん騒を忘れてゆったりと流れる時間を楽しむ作品になります。

「nestructure」

〈行武治美・日本〉

ガラス工芸作家の行武さんは、当間高原リゾート地内で使われなくなっていた小屋を利用して作品を制作します。この小屋の内壁と外壁には、直径約15cmの大きさにやや丸くカットした鏡を全面に貼り付け、周囲の光や景色を映しこみます。使用する鏡の数は、合わせて1万数千枚にもなります。作家は、四角いガラスを1枚1枚丹念に削り出す気の遠くなるような作業を、4月下旬から始めています。

ガラス鏡



行武治美さんの作品



ポジティブリスト制度が始まります

一定量以上の農薬等が残留する食品の販売等を禁止する

食品衛生法が改正され、残留農薬のポジティブリスト制度が5月29日(月)から始まります。

この制度は、定められた基準を超えて農薬が残留する食品の流通を禁止する制度です。農薬の適正使用はもちろん、これまで以上に周りの作物に農薬が飛散しないよう注意が必要です。

農産物を出荷しない農家及び非農家でも、家庭菜園や花壇などに農薬を散布する機会もあることから、制度の基本事項についてQ&A形式で紹介します。

Q ポジティブリスト制度とは

A 一定量以上の農薬等が残留する食品の販売等を禁止する制度です。これまでも、農薬が基準値を超えて残留している食品の販売等が禁止されていましたが、基準値が設定されていない農薬は規制の対象外でした。

ポジティブリスト制度の施行後は、これまで残留基準が設定されていなかった農薬について、一律の基準0.01ppmが適用となり、これを超える食品等の販売が禁止されます。

Q ppmとは、どんな単位か

A ppmとは、100万分の1を表す単位です。たとえば

Q この制度が施行されるのと、食品輸入はできるのか

A 残留基準が設定されていない農薬等を含む食品については一律基準の0.01ppmが適用され、それを超えない量を含む食品であれば輸入は可能です。

Q 家庭用殺虫剤(作物用でない成分)が検出された場合、その食品の扱いはどうなるのか

A この制度は農薬、飼料添加物及び動物用医薬品を対象と

する制度であることから、原則として、これら3つの用途として用いられる物質が対象となります。

しかし、食品に残留する物質を、いかなる用途で用いられたかを区別することは難しいことから、これらについては、農薬等の用途で使用されていなくても、ポジティブリスト制度のもとで規制されることとなります。

Q 飛散させたら罰則はあるか

A 「飛散」法律違反」ではありません。農作物から基準を超える残留農薬が検出された場合に、食品衛生法上の流通禁止や回収などの措置がとられます。

その結果、生産者や流通業者からの損害賠償や産地のイメージダウンといった事態も想定されます。

Q 農薬の使用方法及使用可能な農薬の種類などが変わるか

A この制度は、食品中の農薬等の残留基準に関する制度であり、農薬等の使用に関する規制で

はありません。農薬等の使用に関しては農薬取締法で規制されており、本制度の施行により使用方法や使用可能な農薬の種類が変わるものではありません。

したがって、これからも農薬取締法に基づいて、適切な農薬を適切に使うことが必要です。

Q 農薬の使用で気をつけなければいけない点は何か

A 農薬の使用基準を厳守して正しく使用していれば残留の問題はありません。しかし、飛散や防除器具の不十分な洗浄などの非意図的な不慮の要因により農産物に農薬が付着し、生産物が流通できなくなってしまう事態が想定されます。今まで以上に、散布の仕方など農薬の取扱いに注意する必要があります。

ポジティブリスト制度に関する詳しい情報は、厚生労働省のホームページで紹介しています。
(<http://www.mhlw.go.jp/>)

問合せ先
農林課農業振興係
☎757-3111
(内線247)

— 開かれた市政をめざして —

平成18年度市政事務嘱託員会議が 開催されました

平成18年度の市政事務嘱託員会議が4月14日(金)から24日(月)にかけて、旧市町村ごとに開催されました。会議では、嘱託員の主な仕事や平成18年度予算、市の主要施策などについて説明をしました。その概要と、会場で出された質問と回答などについて紹介します。

今年度の主要施策を説明しました

嘱託員の主な仕事

市政事務嘱託員は、市の非常勤特別職という立場で、地域と行政のパイプ役をお願いするものです。主な仕事は、次のとおりです。
①市の広報紙や関連団体の機関紙などの各世帯への配布
②市や関連団体のお知らせなどの回覧
③関連団体の会費や募金などの取りまとめ
そのほかに、災害時の連絡など地域の窓口的な仕事を随時お願いする

自主防災組織の設立を

災害時に、地域の被害を最小限に食い止めるためには、近隣や地域の人々が協力し合いながら、消火・救出・救護などを行うことがとても重要になります。市では、全ての地域での自主防災組織の設立を目指しています。設立後、防災訓練に使用した資機材の経費に対する補助制度がありますので、結成の際は、防災安全課までご連絡ください。いつ起こるか分からない天災に備え、各地域で自主防災組織をつくりましょう。(担当・防災安全課)



昨年10月23日の防災訓練の様子

ことがあります。

(担当・総合政策課)

平成18年度予算

主要事業や歳入歳出の概要についての説明をしました。詳細は、市報4月10日号をご覧ください。(担当・財政課)

総合計画

総合計画の基本構想が、3月の定例議会の議決を経て策定されました。

会場で出された質問にお答えします

Q カタログなどが送られてきて、注文をとってほしいと言われた場合の対応はどうすべきかわれませんか？

A 市では物品のあっせんはしていませんので、市と無関係なものとして理解してください。対応については、嘱託員の判断をお願いします。

Q 嘱託員は市政に関する研修会などがない。雑務だけというのはいかがなものか？

A 嘱託員の皆さんには、市報などの文書配布や募金・会費の取りまとめのほか、地域と行政とのパイプ役をお願いしています。また、行政区という単位は、地域のコミュニティやまちづくりを行ううえで重要です。研修会などはありませんが、まちづくりなどに関する意見については、地区振興会や地域協議会等を通して市政に反映していきたいと考えています。

Q 嘱託員の報酬の総額はどのくらいか。民間企業へ委託しても良い部分はあるのではないかと聞かれました。報酬の総額は約3,260万

その中で、まちづくりの基本理念として「夢を耕しつづける感動と創造のまちづくり・自立した市民の知恵と協働」を掲げ、行政と市民一人ひとりがそれぞれの立場で大切にしなければならぬ考え、まちづくりの姿勢、心構えを示しました。当市が抱える課題を克服し、資源や個性を生かしたまちづくりを進めます。(担当・総合政策課)

地域情報化の取り組み

昨年度からの高速情報通信網整備事業により、市役所本庁・支所、公民館、全小中学校など公共機関、98か所を光ファイバー網で結びました。今後は、この光ファイバー基幹網を活用して各世帯に向けて地域情報化を推進し、通信・放送・行政情報などが地域格差なく受けられるような整備をする必要があると考えています。また、整備手法については十分に時間をかけて、この地域に

Q また、嘱託員の皆さんにお願いしている仕事は地域に密着しているものが多いため、民間委託に適さないと考えています。

A 市長のあいさつの中で、市民の汗と知恵が必要とされているが、嘱託員も知恵を出す必要があるのか？

A 嘱託員に限らず、市民の皆さんからのご意見や知恵は、とても大切です。市役所・各支所に問い合わせたいかどうか、公共施設に設置している「市長への便り」でご提案ください。

Q 嘱託員会議の資料を前もって配布してほしい

A 来年度から事前配布するよう前向きに検討します。



嘱託員会議の様子 (中里支所)

市民との対話事業 まち・むらトークを 始めます

地域(おおむね地域協議会単位)に市長ほかが出向き、まちづくりについて前向きに意見交換をする「まち・むらトーク」を始めます。

- 1、開催地・テーマ募集
①開催地募集・地域協議会(事情により地区振興会)単位で開催地・テーマを募集します。
- 2、開催日・場所
①開催日時:原則として平日の夜間(別途開催候補日を設けます)
- ②開催場所:各地域の公民館や集会施設など
- ③開催時間:2時間以内(おおむね午後7時から9時ごろまで)
- 3、申し込み方法
①地域協議会(事務局)で取りまとめて申し込みます。
- ②テーマ、発言・質問等の概要についてでも申し込みます。
- ③開催受付は先着順とします。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。
たね5。 <http://www.city.tokamachi.niigata.jp/>

◆問合せ先
総務課広報広聴係
☎757-3111(内線213)

問合せ先

総合政策課企画政策係
☎757-3111
(内線231)



桜の下で短歌が読み上げられました

第20回黄桜の丘桜まつりが、4月29日(みどりの日)に黄桜の丘公園(宮中)で行われました。まつりでは毎年恒例の黄桜に関する短歌の発表が行われ、暖かな日差しの中、信濃川からの心地よい風を肌に乗せながら、穏やかな雰囲気の中で作品が読み上げられました。例年にな

第20回黄桜の丘桜まつり

ながまつりクラブ通信

中里支所
☎763-3111

い大雪で雪解けが遅く、黄桜はようやくつぼみが膨らみかけたころでしたが、大雪に負けず懸命に開花しようとする桜の姿を取り上げた作品がたくさん寄せられました。ジュニアの部では前回まで中里地域の学校が対象でしたが、今回から広く市内の学校に呼びかけたため、大幅に増加した作品の選考には難行しました。選者の柳照雄先生、小海ヨネ子先生は、全体評の中で「短歌は心を見つめることと美しく正しい日本語を守るために大切な存在で、小・中学生が関心を寄せることに大きな意義があります。大げさに言えれば、日本語の将来がかかっています。そうした中で、数年前から取り組んできた中里地域の子供たちの作品が光っていました。根づいてきたことを示しています。感性も、もの見方も磨かれてきていることに注目したい」と述べ、たくさん作品に出会えたことを喜んでいました。

まつだい

ステーション

松代支所
☎597-2220

春の幸を満喫！山菜を楽しむ会

毎年恒例の「山菜を楽しむ会」が5月13日(土)・14日(日)に開催されました。昨年までは地元的女性グループが中心となり開催してきたこの会は、今年からは『まつだい農舞台』が主催することになりました。

会場の農舞台「まつだい食堂」は両日とも満席となり、延べ80人の人出でにぎわいました。

今年は15種類の山菜を使い20品目の料理が並びました。揚げたての山菜の天ぷらをお客さんに食べてもらおうと、スタッフは大量の食材を手際よく調理していました。

会場には各地から山菜愛好家が訪れ、長岡市から来たグループの人たちは「どれも山菜が新鮮で調理も工夫されていてお



まつだい食堂(農舞台)



春の幸が詰まった山菜料理

いしいです」と春の味覚を満喫していました。まつだい食堂料理長の長谷川蘭さんは、「山菜料理は日頃の定食でもメニューに入れていきます。今年は雪解けが遅くこれだけの種類の山菜を集めるのが大変でした」と山菜採取に協力してくれたスタッフに感謝していました。食後は特製のキャラブキのお土産が渡され、希望者にはアート作品を鑑賞する里山ツアーもあり参加者はとても満足した様子で楽しんでいました。

松代の自然

アズマイチゲ

5月8日(月)の午後、県観光協会の要請で『越後妻有の里山写真教室』(5月13日(土)開催)下見のため、まつだい駅南口から広がる大地の芸術祭作品の森を歩きました。散策道脇の崖に目を凝らすと「シノコバイモ」が3株発見され、キクザキイチゲ(キクザキイチリンソウ)やアズマイチゲなどが群生していました。これは私にとつて、松代地区での始めての発見でした。



アズマイチゲは、チャンバナと呼ばれるキクザキイチゲに似ていて、遠目では見分けが付きません。葉の形が似ていることから「菊咲き」と称したのに比べ、「あずま(東)」「方位名」は単純です。

「イチゲ(一花)」は一輪草の意味で、関東方面で多くこの名が付けられています。この辺では、安塚方面でも見受けられます。

ここにサラシナシヨウマヤリヨウメンシタ、ヤマエングサクなどがあり、意外な発見があった楽しい下見行でした。

(文とカット
高橋八十八)

ぶらり松代 途中下車 池尻不動尊

まつだい駅から西へ車で約5分、国道253号、353号、403号が分岐する変則交差点がある所が池尻集落です。集落内の国道沿いには「不動の滝」があり、そのたもには名前由来である不動尊が祭られています。この不動尊は成田山新勝寺から分祀されたものといわれ、昔は不動祭りが毎年行われ、滝つぼで身を清めた行者たちが護摩をたき、火渡りの行事も行われたそうです。また、この不動尊は目の病にご利益があるとされ、遠方からも参拝に訪れる人々が今も後を絶ちません。

おとしの中越地震では、地内で地割れが起こり社の土台が外れて傾いてしまいました。自分たちの家もまだ片付かない11月には、社を早く直そうと集落民の負担で修復され、現在も安全な場所で参拝者を見守っています。



がんばっていこう！ スポーツ少年団認定式

十日町市スポーツ少年団中里支部の18年度認定式が4月30日(日)に中里体育館で行われ、約190人が参加しました。式では、各団がプラカードを先頭に整列し、入団認定証の交付と指導者委嘱状の授与が行われました。中里支部では今年度11団体、241人の入団が認定され、39人の指導者が委嘱されました。団員代表誓いのことばでは、田沢剣道スポーツ少年団団長の小林理佳子さんが元気いっばいに宣誓していました。



一般の部

黄桜の丘大賞

藤原サダ(城之古)

黄桜に雪折れなきを祈りつつ

近づく祭り指折り待つ

なかさと清津観光協会賞

廣田まつ(山崎)

囲い木と共に倒れし黄桜に

弥生なかばの雪降りつもる

中里商工会賞

柳 コメ(松代)

山裾の木々の根回り広まりて

春はたしかに近づきける

ジュニアの部

黄桜の丘大賞

吉楽遼太(貝野小6年)

ゆつくりとゆらゆら流れる信濃川

流れにそって春が近づく

なかさと清津観光協会賞

服部美穂(中里中2年)

この時間ずっと続くとうれしいな

君と見ている黄桜の丘

中里商工会賞

村山幸喜(中里中3年)

信濃川きつと黄桜見つめてる

何千年も何万年も



十日町中学校 2年3組 11

全校生徒287人の中で、あいさつが良く友だちを思いやることができるのも元気な2年3組。クラス目標は「SMILY 笑って笑ってみんなの笑顔が見たい！」です。男子17人女子19人、みんなが笑顔で過ごせるような学級にしよう決めました。3年生を支え、伝統を引き継ぎもっと良い学校にしていきたい。目標に向かってパワー全開の仲間たちです。



根津遥さん——とにかく明るくてにぎやかなクラスです。休み時間になるとはじけたりするけど、授業態度はいいですよ。けじめがきちんとついているところと、チャイム着席は自慢できます。体育祭のときは、クラスみんなで気持ちひとつにして目標に向けて頑張りたいです。個人的には、部活のバスケットで都市大会優勝を目指します。

田辺和史先生——活気のある楽しいクラスですね。どんなことでも話をすれば分かってくれる生徒たちです。体育祭や合唱コンクールのときは、「絶対に負けないぞ」くらいの気持ちで頑張つて、勝つても負けても後悔しない戦いをしてほしいです。来年度へ向け、仲間への思いやりの気持ちと、自分のことに責任を持てる3年生に育つてほしいと思います。



旧十日町市との境に、中里地域の北の玄関口として芋沢集落があります。国道117号を津南方面に進むと、続いて田沢本村、如来寺、上山集落があり、西側に桂、田中集落、東側の一段上に東田沢、豊里集落があります。この田沢地区には支所、総合センター、病院、歯科医院、越後田沢駅、農業協同組合、郵便局、銀行、商工会などがあり、生活する上で欠かせない施設や商店が数多くあります。また、東田沢、豊里には区画整理された農地が河岸段丘一面に広がっています。



田沢本村にある「花の道」花壇

田沢地区(2) (旧中里村)

- ・芋沢
- ・田沢本村
- ・如来寺
- ・上山
- ・桂
- ・田中
- ・東田沢
- ・豊里

平成4年5月に農協と地元商店とが協力し合い、全国初の集合型店舗として「ユーモール」が造られました。広い駐車場が整備された施設内に地元商店が軒を並べたことで、住民はいろいろな商品を1か所で買うことができるようになり、大変便利になりました。この「ユーモール」には大ホール、健康増進室、子どもの広場などもあり、講演会や各種会議、さまざまなイベントに利用されています。またプラネタリウムも併設されていて、地元の愛好家で運営委員会が作られ、手作りのプログラムにより月ごとに内容を変え、四季折々の星空を楽しむことができます。

田沢本村地内、国道117号沿いに新しくできた「花の道」花壇があります。これは、平成14年に花の道モデル事業で整備され、地区振興会や地元の人たちによって各種作業など維持管理が行われています。通行する人たちの心を和ませられるだけでなく、来訪者への歓迎の気持ちも表しています。

おーい！昔 (十一)

「霊鷹の湯」の巻 (松之山)

今からずーっと昔、日本国中が南朝と北朝に分かれて争っていたころのことです。松之山の山奥に一人の狩人が住んでおり、毎日弓矢でウサギや鹿を射止めては市で売って暮らしていました。



それでも鷹は逃げようとせず、狩人をじっと見つめていました。狩人は「どいがだこの鷹は、鳥のくせにやけに落ち着いてるし、何だやらおらと違つて気品があるな。おし、

狩人はその日も鷹に声をかけて帰りました。次の日もそのまた次の日も鷹は同じところにいて10日間が過ぎました。そして11日目の朝、鷹は一声高く鳴きながら空高く飛び去つて行きました。

狩人は「おーたんまげた。やつぱり飛び立つ姿も高貴な感じがするな。はて、鷹がいな、何でだろ」と鷹がうずくまっていたところに行つてみました。するとそこら温かいお湯がこんこんとわき出ていました。もやだと思つていたのは湯気で、鷹はこの湯で傷ついた足を治していたのです。

狩人は、「あの鷹は神様の使いだ。その日暮しのおれにこの湯のありかを教えてくれたんだ。ありがてありがて」と天を仰いで手を合わせました。そして、小屋を建てて「霊鷹の湯」として湯治場を開き、たいそう繁昌しました。

これが日本三大薬湯の一つ「松之山温泉」の始まりです。

「こらこーぎな鷹だ。つかめて鷹匠に売るかはく製にすればもうかるな」と、弓に矢をつがえて射ようと構えました。

今日は殺生はしね」と射るのを止めました。次の日、また鹿を追つてあの谷に入ると、同じところに鷹がうずくまっていました。

市報「だんだん」の評判は？



収入役 丸山 俊久

豪雪の影響から春の農作業が遅れています。今後の天候が気になります。今後の天候が気になります。今後の天候が気になります。

うか。市報とおかまち「だんだん」は内容盛りだくさんで、しかも多岐にわたっています。正直のところ、とても全部は……といったところではないでしょうか。JA十日町さんの広報紙は、当然のことかと思いますが、農業という分野に絞られているため、読みやすいと感じています。また市議会、だよりも、市政全般にわたる一般質問のやりとりなどを中心に、議会活動が分かりやすくまとめられていると思います。

現代社会の情報量は膨大で想像もつきませんが、これに上手に付き合っていくことが必要です。市報とおかまち「だんだん」も広報コンクールで高い評価をいただき、写真の腕前も（カメラも）上等ですが、なんととっても市民の皆様の評判が気になることです。市報は、その役割からしても、全体としては面白いというイメージはわかりませんが、いろいろ工夫しながら必要な情報をお届けしています。すみからすみまでとは申しませんが、一通り眺めていただき、毎月2回の発行日を楽しみにしていただければ幸いです。



ゆくら妻有100万人達成!!

5月13日(出)、「ゆくら妻有」の入館者数が100万人に達しました。ゆくら妻有は平成10年から営業を開始し、火災による8か月の休業期間を挟み、2,490日(1日平均401人)での達成となりました。見事100万人目の入館者になった樋口トフさん(66歳・津南町)には吉楽中里支所長から花束と、記念品として健康チェック測定機が手渡されました。また、前後賞として斎喜りヨさん(79歳・倉俣)と斎喜儀正さん(75歳・新潟市)にも花束と記念品が贈られました。樋口さんは、「ただただびっくりです。朝の占いで玄関、トイレの掃除が幸運と言われて、その通りにやってきたんですが、まさかこんなことになるとは思いませんでした」と驚いていました。

小学校で初めての児童クラブ

5月1日(月)、西小学校で放課後児童クラブの開所式が行われました。式では、この日からクラブを利用する1〜3年生の9人の子どもたちを前に、鶴本校長先生が「このクラブでは、困ったことがあつたらすぐ学校の先生も来てくれます。いろいろな相談もできます。指導員の先生の話をよく聞いて楽しく過ごしてください」と話しました。その後、クラブの3人の指導員の先生が紹介され、子どもたちは早速指導員といっしょに本を読んだり遊んだりしていました。



桜花レスリング道場安全祈願祭

女子レスリング日本代表の国内拠点施設として活用されている、塩之又の桜花レスリング道場の増築工事安全祈願祭が、5月5日(子どもの日)に行われました。これまで、大学や日本代表などが合宿を行ってきましたが、現道場は40人以上での利用が困難であったため、その不具合を解消しようと増築されるものです。この日は、福田富昭(勲)日本レスリング協会会長をはじめ、田口直人十日町市長、上村憲司女子レスリング十日町後援会長などが出席したほか、ワールドカップに向けて合宿中のアテネ五輪メダリストの吉田沙保里さんや浜口京子さんなどレスリング関係者30人も出席し、工事の安全を祈願しました。これまでの約1.5倍の広さとなる道場は、7月末に完成の予定です。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係(☎757-3111内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics

tokamachi topics

製本しませんか 市報とおかまち 『だんだん』



家庭や職場につづつある市報を製本しませんか。
市では、保存と閲覧に利用するため第1号(平成17年4月10日号)から第24号(平成18年3月25日号)を合冊製本(24冊をまとめて製本)します。これを市民ほかの皆さんにもあつせんします。希望する場合は次により申し込んでください。
◆製本費用 600円(税込)
◆申込み先 榊滝沢印刷(本町2)
☎757-2191
※市報(第1号〜第24号)を各自用意して申し込んでください。
◆締め切り 6月12日(月)
総務課広報広聴係または各支所地域振興課行政係でも受け付けます。

健やかに育てと願う七つ参り

武運長久、男児の守り神として信仰される松茸神社(国指定重要文化財)。古くは、上杉謙信も参りいと伝えられています。この伝統にあやかるように松代地域では、毎年5月8日に春の祭礼として「七つ参り」が行われています。数え歳7つの子の健やかな成長を願い、家族や親戚縁者を従えて早朝から標高約400mの松茸山頂上の社を目指します。管理を担う伏集落区長の山本善平さんは「年間をとおして多くのお参りに訪れます。雪下ろしや掃除などムラの子どもや若い人といっしょに保存に力を入れています」と、残雪の残る境内で来訪者を迎える準備に精を出していました。



十日町クリーン作戦2006春

「第10回十日町クリーン作戦2006春」が5月14日(日)に市内各所で開催され、30団体、約700人の市民が参加しました。妻有大橋下のメイン会場では、およそ500人の市民が、信濃川河川敷に捨てられた缶やペットボトルなどのごみを拾い集めました。中にはCDプレーヤーや廃タイヤ、建築資材(鉄骨)などといったごみもありました。今年、メイン会場で回収されたごみは昨年に比べ減少しており、市の担当者は「河川敷のごみが減ったのはうれしいが、ポイ捨てや不法投棄はまだ多い。今後も環境美化を訴えていきたい」と話していました。



可憐 野口水ばしようまつり

5月5日(子どもの日)、野口水ばしよう公園(野口)で、野口水ばしようまつりが開催されました。新緑をまとったブナ林を川上に据え、清れつな流れに咲きほころぶミズバショウが人々を誘うかのように、公園は約500人の人出でにぎわいました。まつりを主催する野口水ばしよう保存会の村越繁正会長は、「カヤやガマなどからミズバショウを守るの大変ですが、ムラの宝ですからやりがいがあります」と丹誠込めて育てているミズバショウに笑みをこぼしていました。



お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

GUIDE し座 催講

女性のためのキャリアアップセミナー

21世紀は女性の活躍で企業が伸びる時代です。自分の能力を伸ばし、可能性にチャレンジ！これからも働き続けたい意欲的な女性の参加をお待ちしています。●日時 6月16日(金)午前10時30分～午後5時 ●会場 情報館 ●定員 20名 ●内容 講義「これからのキャリア開発の考え方」(講師：㈱キャリアネットワーク・大塚晴美氏)、体験発表 ●申込み・問合せ 総合政策課行革協係(内線2331)

普通救命講習会

傷病者の発見・通報から救急隊が到着するまでの間に、近く

にいる人が心肺蘇生・除細動を行うことで救命率を高めるために、定期的に講習会を開催します。●日時 6月10日(土)午前9時～正午(受付 8時30分) ●会場 十日町地域消防本部 ●参加費 無料 ●定員 先着30人 ※動きやすい服装で参加してください。●内容 心肺蘇生法を中心に自動体外式除細動器(AED)の取扱訓練も行います。参加者には修了証を交付します。●申込み・問合せ 十日町地域消防本部警防課救急係 ☎757-1558

キナーレ体験工房館 浴衣着付け教室

●日時 6月・7月の毎週木曜日午後1時30分～3時30分 ●会場 キナーレ体験工房館 ●参加費 1回500円 ※浴衣を持参(有料貸出しあり) ●定員 10人(当日受付可) ●申込み・問合せ キナーレ ☎752-0117

キナーレ体験工房館 のれん作り体験

藍染めでオリジナルのれん作りをしませんか。●日時 6月の毎週火曜日午後1時30分 ●会場 キナーレ体験工房館 ●参加費 2,000円(前売り1,000円) ●問合せ 世界の民俗芸術に親しむ会事務局 ☎752-2396

第26回おかめ市

●日時 6月11日(日)午前11時～午後3時 ●会場 コモ通り※フリーマーケット参加者及び通りに飾るてるてる坊主を募集します。●問合せ 青山商店・鈴木 ☎752-2191



レクリエーション ダンス体験教室

おなじみの曲に合わせて体を動かし、ステップを踏むだけ。年齢を問わず誰でも踊れます。●日時 5月30日(火)、6月13日(火)午後8時 ●会場 中里総合センター ●参加費 無料 ●申込み・問合せ 中里公民館 ☎763-2493

市民テニス指導会

【レベルアップ指導会】テニスのレベルアップのチャンスです。●期間 5月から11月までの毎週木曜日午後7時30分～9時30分

加費 2,000円、3,000円(サイズによる) ●定員 各回先着10人 ●申込み・問合せ キナーレ ☎752-0117

シルバー技能講習会

60歳以上の高齢者の雇用と就業の機会を確保するため、技能講習会を開催します。●申込み・問合せ (社)シルバー人材センター ☎757-5708

【草刈機安全使用講習会】 ①日時 6月13日(火)午後1時30分 ●会場 中里老人福祉センター ②日時 6月14日(水)午後1時30分 ●会場 十日町ライオンズの森

植木のせん定講習会

●日時 6月16日(金)午後1時30分 ●会場 川西高齢者コミュニティセンター

【障子・ふすま張り替え講習会】 ●日時 6月16日(金)午前9時 ●会場 サンクロス十日町

十日町市民吹奏楽団 サマーコンサート'06

●日時 6月10日(土)午後6時30分～(開場6時) ●会場 市民会館ホール ●入場料 700円(当日800円、小学生以下無料) ●演奏曲目 歌劇「魔笛」

分 ●会場 総合公園テニスコート ●参加費 協会員は無料。一般500円(ボール代) ※当日会場にて受付 ●申込み・問合せ 十日町市テニス協会事務局・堀 ☎090-1123-6552

初心者基本講習会

初心者(学生除く)を対象にした硬式テニスの基本講習会です。開催日に随時受付しています。●期間 6月から11月までの毎週月曜日午後7時30分～9時30分 ●会場 総合公園テニスコート ●参加費 3,000円(初参加時に徴収) ●申込み・問合せ 十日町市テニス協会・榎熊 ☎090-6450-6620



内閣総理大臣名の書状を贈呈します

先の大戦において、外地等(事変地の区域または戦地の区域)に派遣され、戦時衛生勤務に従事された旧日本赤十字社看護看護婦及び旧陸海軍従軍看護婦の方(慰勞給付金受給者は除く)に対し、その苦勞に報いるため、内閣総理大臣名の書状

序曲、ベニーグッドマンメドレーほか ●プレイガイド 11イートー楽器、楽器のおきの、市民会館 ●問合せ 庭野 ☎757-2351

十日町おやこ劇場 おはなしてんこもり

絵本の読み聞かせをします。●日時 6月3日(土)・10日(土)・17日(土)午前10時30分～11時30分 ●会場 加賀書院(市役所通り) ●問合せ 加賀書院 ☎752-2114

十日町おやこ劇場 舞台劇公演

●入場料 入会金1家族1,000円 ※年中児以上1人月額700円 ※会員制、当日入会可 ●問合せ 加賀書院 ☎752-2114

劇団道化「なにができるかな」 幼児・低学年向けです。●日時 6月4日(日)午後6時30分 ●会場 サンクロス十日町

劇団アートインアシビナ青芸 【だいきらい】小3～大人向けです。●日時 6月11日(日)午後7時 ●会場 ユーモール

1Hクッキングヒーター 体験料理教室

●会場 東北電力 十日町営業所 ●参加費 500円 ●定員 各回12人(申込多数の場合抽選) ●申込み・問合せ 東北電力 十日町営業所 ☎757-1987

ハンバーグ&旬菜献立

ジューシーハンバーグ・新じゃがロースト添え、ごぼうサラダなどを作ります。●日時 6月13日(火)午前10時30分～午後1時 ●申込み 締切り 6月8日(木) ●初夏の食卓を緑で彩る

焼き豆腐と野菜の炊き合わせ

小エビの緑茶かき揚げなどを作ります。●日時 6月17日(土) 午前10時30分～午後1時 ●申込み 締切り 6月12日(月)

環境と平和の講演会 平和な美しい地球を子どもたちに

パソコン用インクジェットカートリッジのリサイクルで戦禍にあえぐ世界の子どもたちを救えます。●日時 6月3日(土) 午後7時～9時(開場6時30分) ●会場 千手コミュニティセンター ※当日はエプソン・キヤノンのカートリッジの回収も行い

5月31日は世界禁煙デー

今年のおテーマ やめたい人を手助けする禁煙支援

タバコの煙には、数多くの化学物質や発ガン物質が含まれており、喫煙者本人ばかりでなく、周囲の人の健康にも悪影響を与えます。喫煙しないことが一般的な社会習慣になることを目指して5月31日から禁煙週間が実施されます。また、この4月からは1人でも多く禁煙したい人がタバコをやめられるよう、禁煙治療に医療保険が使えるようになりました。 やめたいと思っても、なかなかやめられないのがタバコです。タバコをやめにくくしている原因は、身体がニコチン依存に陥っていること、喫煙行動が習慣化していることといわれています。禁煙を試してみただけで禁煙できなかったという人、禁煙をしたいけれど、禁断症状が心配な人に対して医療機関は禁煙を支援しています。

【禁煙指導をしている医療機関】

(平成17年8月1日現在、五十音順)

池田医院 ☎752-2581	石川医院 ☎766-2061
上村病院 ☎763-2111	古藤医院 ☎765-3001
小林内科医院 ☎752-7155	たかき医院 ☎758-2361
田中外科医院 ☎752-2403	津南病院 ☎765-3161
十日町国保診療所 (倉俣 ☎763-2147・室野 ☎598-2101・松之山 ☎596-2240)	
十日町病院 ☎757-5566	富田医院 ☎761-0200
中条病院 ☎757-3018	本町クリニック ☎750-1160
松代病院 ☎597-2100	

【禁煙外来を開設している医療機関】

津南病院 ☎765-3161
松代病院 ☎597-2100 ※6月から開設します

※詳細は直接医療機関に問い合わせいただくか十日町地域振興局健康福祉部ホームページの「お知らせ」をご覧ください。

●問合せ=健康支援課地域医療係 (内線127)

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間のには市外局番025が必要です

ます。●参加費 500円 ※中学生以下無料 ●問合せ エコロジカルヴィレッジわ・えん 滝沢 ☎768-2816

当間山山開き

山開き後、登山またはブナ林を回遊します。●日時 6月4日(日)午前8時～午後1時30分 ※雨天決行 ●集合場所 登山口手前ヘリポート ※市役所発着送迎バスあり ●参加費 500円 ●申込み 参加費を添えて総合体育館 ●問合せ 十日町楽山会・樋口靖 ☎090-4757-8989

日本・クロアチア戦をパブリックビューイングで

パブリックビューイングで、日本VSクロアチア戦に声援を送りましょう。●日時 6月18日(日)午後8時(試合開始10時) ●会場 キナーレ特設応援会場 ●申込み・問合せ クロアチアピッチ活用事業実行委員会事務局 ☎752-4377

2007日印交流年ブレイクイベント インド文化省派遣 オデイッシー舞踊公演

●日時 6月7日(水)午後7時 ●会場 情報館 ●参加費 1,

を贈呈します。●請求期限 平成19年3月31日(土) ●請求窓口 福祉課援護係 ●問合せ 総務省大臣官房管理室業務担当 ☎03-5253-5182

いきいき人生 よい歯のコンクール

県・市では、自分の歯で食べ健康な生活を送る高齢者のコンクールを行います。次の条件に該当する人は申込んでください。 ●条件 ①昭和11年4月1日以前生まれ(満70歳以上) ②親知らずを除く歯の本数が、80歳以上の人は20本以上、70歳以上の人は24本以上 ③虫歯などで治療が終わっていない自分の歯が5本以下 ④ぐらぐらする歯がない ⑤歯周病が重症でない ●申込み・問合せ 6月8日(木)までに、健康支援課母子保健係(内線123) ※6月14日(水)十日町保健センターで歯科健診を行います。

点訳・音訳図書 貸し出します

新潟県点字図書館では、点訳・音訳された書籍を視覚障害者に貸し出しています。 ●申込み・問合せ 新潟県点字図書館 ☎025-381-8111

2〜5月分の児童手当を振り込みます

2〜5月分の手当は、6月9日(金)に指定された口座に振り込みます。 ※これまで「特例給付」を受給されていた人は、4月1日からの制度改正により被用区分が「児童手当」に変更になりました。支給額には変更ありません。 ●問合せ 保険年金課年金係(内線167)

野焼きは法律で禁止されています

野焼きは、煙や臭いで人に不快感を与えるだけでなく、ダイオキシンなどの有害物質を排出



公営住宅 入居者募集

松代地域内の公営住宅への入居者を募集します。 ●募集期間 5月29日(月)〜6月12日(月) ※入居の資格条件があります。 ●申

Table with 5 columns: 地域, 物件, 間取り, 家賃(月), 募集戸数, 備考. Rows include 善宗塚住宅 (昭51, 昭52年度建設) and 下町第2住宅 (特定公共賃貸住宅).

ごみ収集業務にご協力をお願いします

ごみステーションでの積み込み作業のため、収集車が交通の妨げになる場合がありますが、わずかな時間です。ご理解とご協力をお願いします。また、鉄・アルミ類の収集日に、ごみステーションやその周辺に使用中の自転車やスノーダンプなどを置くと間違えて収集しますので、近くに置かないように注意してください。 ●問合せ 環境衛生課 ☎752-3924

不法投棄は許さない

美しい日本を目指して、地域から行動していく第一歩として、6月の環境月間中の1週間を「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」として定めることになりました。この取り組みは全国の市で行われ、当市では、6月12日(月)〜18日(日)の1週間を監視ウィークとしています。不法投棄を見つけたら、市民生活課生活環境係まで連絡をお願いします。市

むし歯のないよい歯の子

Table with 4 columns: 庭野健斗, 浅田音生, 阿部遥愛, 福原香海, 磯部美香, 樋山京子, 丸越紗綾, 保坂有未, 池田希空, 五十嵐理沙, 和久井樹史, 山本輝輝, 高野伊吹, 高橋悠. Includes names, addresses, and guardians.

チーム・マイナス6%in いがた参加者募集

県では、地球温暖化対策県民運動「チーム・マイナス6%in いがた」を推進しています。インターネットなどで気軽に参加登録してください。 ●申込み・問合せ http://www.team-6.jp または市民生活課生活環境係(内線157)

7月採用自衛官募集

自衛隊では、18年7月採用の陸上・海上・航空自衛官を募集しています。 ●受験資格 7月1日現在満18歳以上27歳未満の人 ●試験期日 6月4日(日)もしくは25日(日) ●試験科目 学科試験・口述試験・身体検査・適性

松代観音祭 打上花火募集

7月22日(土)に開催される、松代観音祭と大地の芸術祭の前夜祭で祝福の花火を上げてくださる個人・団体を募集しています。 ●種類 4号玉〜スターマインまで。7,500円〜120,000円 ●募集期日 6月20日(火)まで ●申込み・問合せ 6月20日(火)までに松代町商工会内松代観音祭実行委員会事務局 ☎597-2006

第3回新潟県障害者技能競技大会参加者募集

障害者の皆さんが職業技能を

女性と子どもの人権に関する相談電話

新潟県方法務局では、相談専用電話「女性の人権ホットライン」と「子どもの人権110番」を開設して、相談を受け付けています。相談時間は月曜日〜金曜日(祝日を除く)の午前8時30分〜午後5時です。 ●女性の人権ホットライン ☎0570-070-810 ●子どもの人権110番 ☎0570-070-110 ※PHS・IP電話からは接続できません。

山菜採りに注意!!

山菜取りに伴う事故・遭難が続出しています。山に入るときは、次のことに注意してください。

- ① 1人で山に入らない
② 斜面の残雪に近づかない(雪崩に注意)
③ 雪渓のふちや滑りやすい斜面を歩かない
④ 農道や田んぼのあぜなどを傷めない
⑤ ごみは必ず持ち帰る

6月の交通安全キャンペーン

違法駐車追放

●道交法の改正により、6月から駐車違反の取り締まりが民間委託されます。 【主な改正点】 ・民間の駐車監視員が、放置車両と確認した時点で標章を取り付け、デジタルカメラで撮影し、端末機で警察に連絡します。 ・違反した運転手が反則金をおさめないときは、車の使用者(所有車)に反則金の納付命令が可能になります。 ※6月時点で民間の駐車監視員を導入するのは新潟東・新潟中央・長岡の3署です。 ※十日町市の駐車違反取締重点箇所は、クロス10→本町通り→市役所の間です。

Table with 4 columns: 年, 発生件数, 死者数, 負傷者数. Rows for 18年 and 17年.



児童手当の現況届を提出してください

現在、児童手当を受けている人は、市から後日送られる現況届を提出しないと支給が停止されます。忘れずに提出してください。

●休日救急医

期日	医療機関名	住所	電話番号
4日(日)	大坪医院	四日町新田2	757-6100
11日(日)	川西診療所 津南病院	高原田 津南町	768-2034 765-3161
18日(日)	上村病院 池田医院	田中 本町西1	763-2111 752-2581
25日(日)	庭野医院	寿町4	752-2711

●乳幼児健診

◎会場…十日町保健センター（十日町市役所となり）
◎持ち物…母子健康手帳、問診票、フッ素塗布希望確認票（1歳6か月児のみ）視聴覚アンケート（3歳6か月児のみ）着替えやおむつなど必要なもの

◎対象の期日に受診できなかったときは、住んでいる本庁または各支所へ連絡してください。
◎3歳6か月児健診前に検査セットを送りますので、届かない人は本庁へ連絡してください。

事業名	期日	受付時間	対象児
4か月児健診	28日(水)	午後1時～1時30分	18年2月生まれの乳児
10か月児健診	21日(水)	午後1時～1時30分	17年8月生まれの乳児
1歳6か月児健診	14日(水)	午後1時～1時30分	16年12月生まれの幼児
2歳6か月児身体測定	21日(水)	午前9時～9時30分	15年12月生まれの幼児
3歳6か月児健診	15日(木)	午後1時～1時30分	14年12月生まれの幼児

予防接種・健康相談・休日救急医・乳幼児健診の問合せ

十日町本庁(代表) ☎757-3111	川西支所(健康福祉課直通) ☎768-4957	中里支所(健康福祉課直通) ☎763-3121	松代支所(健康福祉課直通) ☎597-2221	松之山支所(健康福祉課直通) ☎596-2169
------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------

●国保診療所からのお知らせ

【室野診療所】
4月から火曜日・木曜日の午後1時30分～4時30分の診療となりました。

【倉俣診療所】
4月から火曜日と木曜日の午後は休診となりました。

【川西診療所】
4月から小児科診療は毎週水曜日の午後に変更になりました。

●離乳食教室

対象児と内容	開催日
2か月～4か月児 離乳食準備～前期	6日(火)



会場 十日町保健センター
受付時間 午前9時45分～午前10時
直接会場にお越しください
持ち物 母子健康手帳

対象児と内容	開催日
6か月～9か月児 離乳食中期～後期	20日(火)

会場 川西保健センター
受付時間 午前9時45分～10時
直接会場にお越しください
対象地域 川西・松代・松之山
持ち物 母子健康手帳



●ちびっこひろば

なかよしランド

ふれあいの場を提供します。

●日時 6日(火)・10日(土)・13日(火)・14日(水)・20日(火)・27日(火) 午前10時～11時

●対象 3歳未満児とその保護者

●会場 市民体育館（10日(土)は総合体育館で運動会、14日(水)は午後2時～（予定）中央公民館で「全国おはなし隊」による読みきかせ）

●申込み・問合せ 中央公民館 ☎757-5011

おはなしたまてばこ

読み聞かせ、手遊びなどを行います。

●日時 8日(木) 午前10時～11時

●対象 乳幼児とその保護者

●会場 情報館

●問合せ 情報館 ☎750-5100

どんぐりおはなしのへや

読み聞かせ、パネルシアターなどを行います。

●日時 17日(土) 午後3時～3時40分

●会場 情報館

●問合せ 情報館 ☎750-5100



●健康相談

保健師による相談

期日	会場	受付時間
5日(月)・19日(月)	十日町保健センター	午前9時30分～11時30分
8日(木)	吉田就業改善センター 山谷集会所	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～3時30分
13日(火)	新座コミュニティセンター 大井田コミュニティセンター 川治公民館 羽根川荘	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～3時30分 午前9時30分～11時30分 午前9時30分～11時30分
16日(金)	水沢公民館 平成園	午前9時30分～11時30分 午後1時30分～3時30分
20日(火)	川西保健センター	午前9時～午後4時
22日(木)	松代保育園 中条公民館	午前9時～11時 午前9時30分～11時30分
23日(金)	北原集落センター 下条公民館 上新田自治会館	午後1時30分～3時30分 午前9時30分～11時30分 午後1時30分～3時30分
26日(月)	松之山支所	午前8時30分～午後5時
27日(火)	中里総合センター	午前9時～11時

※健康手帳のある人はご持参ください。

●心の健康相談

期日	時間	会場	医師
6日(火)	午後1時30分～3時30分	川西保健センター	江口医師 (江口医院)
20日(火)	午後2時～4時	津南町保健センター	奈良医師 (中条第二)

●申込み・問合せ
健康支援課成人保健係（内線126）または、十日町地域振興局健康福祉部地域保健課 ☎757-2400

●全血献血

●日時 14日(水)

●会場と受付時間
①十日町砂利棟 午前9時30分～11時30分
②JA十日町 本店 午後1時～3時30分

●問合せ
健康支援課地域医療係（内線127）



●高齢者職業相談

毎週月～金曜日午前9時～午後5時
会場：高齢者職業相談室（サンクロス十日町内）
おおむね45歳以上が対象です

●定例行政相談

毎月第2金曜日 午前10時～午後3時
会場：市民相談室・行政相談室

●法律相談 電話で市民生活課市民係へ要予約

毎週木曜日 午後1時30分～4時
会場：市民相談室・行政相談室

●定例社会保険・年金相談

毎月第2・第4木曜日
午前10時～正午、午後1時～3時
会場：クロス10

●心配ごと相談 問合せ 社会福祉協議会☎750-5010

会場：社会福祉協議会（本所・支所）
時間：午後1時30分～4時
▽十日町本所 毎週木曜日
▽松代支所 2日(金) ▽松之山支所 13日(火)
▽中里支所 16日(金) ▽川西支所 27日(火)

▼春が来ましたが、一気に。今年は雪消えが遅かった（森林総合研究所十日町試験地で5月4日消雪／昨年より6日遅い）ため、残雪の中で芽吹いたブナなどの木々も日々劇的に緑を濃くしています。今まで地にためていたエネルギーが一気に「春の気」を毎日浴びられることは、何事にも代えがたい豪雪地に暮らす私たちの特権です。

▼気がつけば五月も末、もうすぐ夏になるというのに、ようやく気持ちも体も春モードになった気がします。カレンダーと、季節でときを感じる体内暦？には明らかに開きがあるようです。ともあれ外に出て空を仰いで深呼吸し、急いで一年分の活力を体に取り入れましょう。

▼サッカーW杯が2週間後に迫りました。4年前の市報とおかまち5月25号は、W杯本番前に当間高原でトレーニングに励むクロアチア代表選手の写真が表紙を飾っています。キャンプは5月20日～6月2日まで行われ、その間市内はクロアチアムード一色に包まれました。2週間のキャンプを終え十日町を離れる日、大勢の市民が国道沿いで選手たちを見送ったことが、ついでこの間のことのように思えます。

▼あれから4年…世界が熱狂するW杯が再び開催されます。開催国ドイツとの時差は約7時間。思ったよりは翌日の仕事に影響が出ない時間帯で見ることができそうです。幸か不幸か、日本とクロアチアは同じFグループ。両国が優勝候補のブラジルを破り、こそつて決勝進出できることを願って、「イデオ！フルヴァツカ！&ニッポン！」

おはなしたまてばこ



とよかまち イチオシ

滝 マップ

水しぶきに発するマイナスイオンのおかげか、水を打つ音か。疲れた体をやさしくいやしてくれる滝。信濃川を本流に、いくつかの水系がある十日町市は豊かな水の都。もうじき暑い夏、涼味あふれる滝のほとりで体を休めてみませんか。



竿滝

国道403号室島く小脇間「小脇トンネル」から東側に200〜300mほど入った場所に位置し、瀬替えの土地を潤す大事な水脈を作り出している。高さおよそ30〜40m（2段）で、雪解け水を集めて轟々と流れ落ちる様は見ごたえがあります。

▼場所：小脇
▼問合せ：川西観光協会 ☎768-4951



どんでん滝

貝野川の中流、神明水辺公園にあるどんでん滝。周囲には芸術祭の作品が展示され、親しみのある憩いの場になっています。7月22日(土)、第3回大地の芸術祭前夜祭として能・狂言公演が催されます。

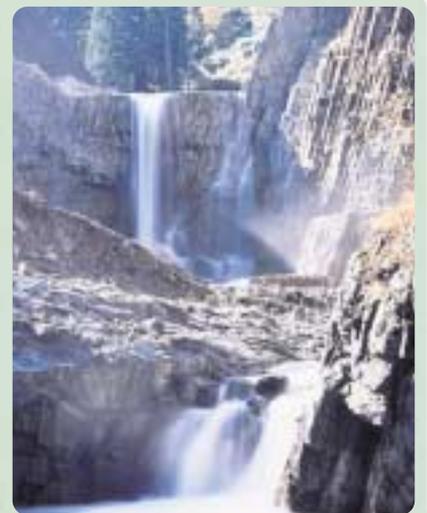
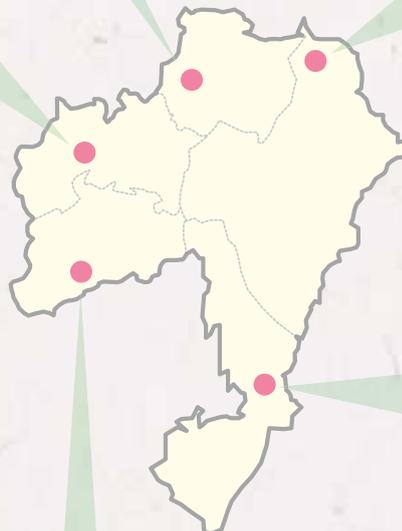
▼場所：貝ノ川 ▼問合せ：下条公民館 ☎755-2004



池尻 不動滝

池尻の不動尊から流れ落ちる落差15mあまりの不動滝。新緑のブナ林の中に真っ白な水しぶきが美しいコントラストを見せます。

▼場所：池尻
▼問合せ：まつだい観光協会 ☎597-3000



国指定名勝・天然記念物 七ツ釜

苗場山系から流れ出る釜川の渓流に点在する七つの滝つぼです。右岸がた断面層、左岸が切り立った縦層という学術的にも大変珍しい景観です。その昔、男が滝つぼの主の大蛇との約束を破り「投網」を打ったため、大蛇の怒りをかい、命を失ったという「七ツ釜の伝説」が残っています。

▼場所：田代
▼問合せ：なかさと清津観光協会 ☎763-3168



湯本の不動滝

松之山温泉街にあり落差は約30m。滝の中ほどの石組には観音様に見える石があり、水量が少なくなる夏場にはその姿を見ることができま。湯治客の散策コースで、水量の多い春と紅葉の秋は見ごたえがあります。

▼場所：湯本
▼問合せ：松之山観光協会 ☎59663011

発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.752-4635
E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp 編集/総務課広報広聴係

